

TAKAHAMA キャリア教育実践プログラム

1 キャリア教育の全体目標

- 主体的・協働的な学習を通して、「学ぶ力」（確かな学力）の向上を図る。
- 地域とのつながりを大切にする奉仕的活動を通して、「つなぐ力」（福祉の心）を育てる。
- 体験的な学びを通して、人と「かかわる力」（社会生活実践力）を育成する。
- 健全な体と心を持った社会人を育てるため、生徒が自己管理能力や課題解決能力を身につける教育活動を展開する。

	1 学年	2 学年	3 学年
全体	○学習習慣を身につける。	○自己の進路に応じた学習計画を立て、実行する。	○発展的学習活動を行い、社会とつながる力をつける。
	○自己の役割や適性を発見する。	○自己の適性をより深く探究する。	○進路実現に向けて主体的に活動する。
a 人間関係形成・社会形成能力	自分と他者との違いに気付き、互いに支えあい、協調しながら活動する。	自分と他者との違いを尊重し、相互理解を深めるとともに、寛容な気持ちで行動する。	周囲の人と様々な価値観を共有し、互いに認め合うことを大切にしながらか行動する。
	日常の学校生活の中で自分の果たす役割を見つける。	日常の学校生活の中で自分の果たす役割を見つけ、個人的、社会的役割や責任を理解する。	社会の中での自己の役割を認識し、将来設計する。
	お互いの個性を尊重しあいながら自分の考えを的確に伝える。	お互いの個性を尊重しあいながら共同作業に必要なコミュニケーション力を高める。	お互いの個性を尊重しあいながら他者と積極的にコミュニケーションを図り、チームワーク力を高める。
b 自己理解・自己管理能力	日々の学習活動を大切にし、自己の適性を見つけ、将来の自己実現の基盤作りをする。	日々の学習活動を通じ、自己の適性や能力を分析し、将来の自己実現につなげる。	自分の進路適性を見据えながら、日々の学習活動を充実させ、進路実現する。
	自分の長所に注目し、自分の体験や考えなどをしっかり発表する。	自己の体験や調べたことに対して、自分の考えや意見を交えて発表する。	自分の考えや意見を論理的・効果的に発表する。
c 課題対応能力	他者から様々な生き方を学び、自己理解に基づいた将来の進路や生き方について考える。	他者から様々な生き方を学び、自己理解を深め、将来を設計し、実現に向け行動する。	将来の進路目標に基づいて進路計画を立て、その進路実現のために必要な学習や課題を理解し、積極的に取り組む。
	様々な活動における自己の課題に対して、主体的に取り組む。	進路実現のために自分は何を克服すべきかを見極め、行動する。	進路実現に向け、諸課題を認識し積極的に取り組み克服する。
d キャリアプランニング能力	自分の進路に興味を持ち、自己理解を深め様々な資料を活用する。	自分の進路に関心を深め、様々な資料を主体的・積極的に活用できるようにする。	具体的な進路先についての情報を集め、比較検討をし、自己の進路実現に取り組む。
	実際に働いている方から体験や考えを聞き、進路選択について働くことの意義を考える。	職場見学や体験学習を通じて、多様な職業観・勤労観を理解し、自己の進路選択や生き方への考えを深める。	多様な職業観・勤労観を理解し、学校で学ぶこととの関連を考え、自己の進路や生き方の選択にいかす進路計画を立てて実行する。
	日常の学習活動を軸に、自己の適性を理解しながら進路選択を考える。	多様な選択肢の中から、自らの意思と責任で、将来の進路を主体的に選択する。	自らの意思と責任で選択・決定した進路であることを受け入れ、適応・対処する。